



# ガーナでPCインストラクター

にししま ゆりこ  
西島 百合子さん(ガーナ共和国・タマレ在住、川崎市出身)

JICA 青年海外協力隊員 任期:2016年3月から2年間

▲スポーツの時間に生徒たちと(本人:中央)



▲IT授業風景



▲シアバター



▲手編みバスケット

## チョコレートだけじゃないんです。

ガーナというと、皆さん何を思い浮かべるでしょうか。チョコレートが真っ先に思い浮かぶと思います。私もそうでした。確かに主原料のカカオは名産物ですが、チョコレートは日常食ではなく贅沢な嗜好品なのです。ガーナ人はカカオを生のままフルーツとして食べます。ちなみに、生カカオは甘くないライチのような味です。

美容に良いとされるシアバター(シアの実の種から取れる植物油脂で、天然の保湿クリームとして使われるもの)は、ガーナでも作られています。器にこんもりと盛られ売られていて、値段は野球ボールサイズで10円程度です。また、可愛くて丈夫な手編みのバスケット(カゴバック)は海外ブランドに輸出されています。日本の雑誌でも、モデル

さんが持っていたりします。チョコレートだけじゃないんです、ガーナって。

## パソコンで「福笑い」

ガーナの首都アクラから、バスで12時間ほど北に位置するタマレ。私はその街にある教員養成校でPCインストラクターとしてIT技術を教えています。

生徒たちは将来小中学校の先生になるために、寮生活をしながら勉強をしています。生徒数は800名以上、3年制の学校で、日本の教育大学のようなところ。1、2年生は学校で学び、3年生になると教育実習に出ます。

私のパソコン授業は「楽しく学ぶ」がモットー。例えば、マウスの練習のためにパソコン上で福笑いをさせたりしています。マウス操作の「ドラッグ&ドロップ」\*で目や口を顔パーツの上に持っていく、というゲームです。日本の文化を教えることもでき、生徒は「先生の授業、楽しい」と言ってくれています。

夕方にはスポーツの時間があり、寮対抗で試合が開催されます。娯楽が少ないここでは、スポーツは大切な娯楽の一つで、とにかく勝負も応援も真剣です。「先生はどこを応援しているの?うちのチームを応援してよ!」「いやいや、うちのチームだって!」と賑わっています。

## ガーナ人の笑顔

ガーナは英語が公用語ですが、各地域に現地語があり、地元ではみんな現地語で話をします。私が現地語で挨拶をすると、彼らは「えっ」と驚き、笑って挨拶を返してくれます。無表情だと少し怖い感じもしてしまう彼らですが、一瞬にしてクシャッと素敵な笑顔を見せてくれます。そんな彼らの笑顔が嬉しくて、今は現地語を一生懸命勉強しています。ガーナの人々の笑顔が私の日々の活力です。

(文・写真:西島百合子さん提供)

※「ドラッグ&ドロップ」:コンピュータのマウスの操作方法のひとつ。画面の画像やデータやファイルを選択し、希望する場所まで移動させる操作方法。



## 【お知らせ】



ボランティア春募集  
応募期間 3/31 ~ 5/10

青年海外協力隊、シニア海外ボランティア合同で、説明会を予定しております。

募集説明会 3月下旬より開始

詳しくはjicaのホームページをご覧ください  
<http://www.jica.go.jp/yokohama/index.html>